

十月十六日

六時三〇分起床。技術と歴史の研究会でのレクチャーのシナリオをつくり始める。九時過レクチャーのシナリオ案修了する。これで東大出版会の原稿も書けるだろう。十一時研究室。十四時過まで幾つかの用件をこなす。十五時市ヶ谷法政大学。高山建築学校の本の出版記念パーティに出席。故倉田康男先生の奥様や、これも亡くなった秋沢健二さんの奥さん、木田元先生、鈴木博之先生他にお目にかかる。若い会った事もない学生、女学生が沢山来ていたが、何の接点も無い。私も関心が無い。遠巻きにジロジロ見られている風な感があった。十七時会場を鈴木先生と共に去り、新宿で会食。いささか酔った。弱くなった。

十月十七日 日曜日

七時前起床、朝食後富士嶺観音堂へ。原口氏同行。今日は富士山が見えるかな。十一時過富士嶺着。驚いた事に、聖徳寺境内には百人以上のヒッピーもどきが集まり、大音響を響かせ、おどり狂っていた。聞けば、六本木のイベント屋らしい若いのがネットで呼びかけ一人三千円の会員で集めたものらしい。道端にはフラフラになったらしきも倒れていたりで、乱痴気さわぎそのもの。テントも三〇位張られヒッピー村もどきになっていた。昨夜からの集まりらしい。観音堂にも入り込もうとする馬鹿もいて妙な事になっていた。住職が許可してしまったのだろう。ここの住職は

時にふてくされるとヤクザの眼付きになる。用心したい。しかし、オウム真理教事件の渦中に巻き込まれた上九一色村で、この騒ぎは無いだろう。住職には猛省をうながしたい。富士嶺造園のオヤジさんにも来てもらい、地元からの抗議とする。十四時河野鉄骨来。屋根にのぼり、台風による雨もりの原因を突き止める。比較的単純なミスであった。屋根屋の施工に問題があった。十五時富士嶺を去る。只今十七時過中央高速談合坂を過ぎたところ。十数キロの渋滞である。

十月十八日

七時起床。八時過河野鉄骨世田谷村アルミ板空気膜構造の撤去と改修屋根工事に来る。二日間の工事の予定。決して小さくはない実験であったが、授業料だ。他人の家で試み失敗するよりは良い。天気良し。実際にモノを作る工事者、特に体を使って作る職人はうらやましい。彼等には彼等なりの悩みや困難があるのだろうが、日々体を使って、キッチンと疲れて、それなりの充足も又ハッキリあるだろう。デザインは頭は疲れるのだが、頭が疲れると目がさえて眠れないなんて身体の矛盾がおきるからな。

十時研究室。M0、M2合同ゼミ。十三時過迄。M0とM2は全員チェックできた。十四時半過新木場定例。十七時過迄。只今十八時、京王線新宿駅。ここで研究室に立寄れなくなっている今がある。体と仕事の成果のバランスである。世田谷村に戻って連絡を入れる事にする。